

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	07 諸費	目	06 男女共同参画推進費
大	051	男女共同参画推進事業				
中	01	男女共同参画推進事業				

1. 事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	3	女性の活躍推進		
	施策	3-3	多様な働き方の実現を支援		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	有	男女共同参画社会基本法			
根拠例規	有	坂井市男女共同参画推進条例、同条例施行規則			
関連計画・マニュアル	有	坂井市男女共同参画推進計画			

2. 事業の目的・概要

目的・趣旨	家庭・地域・職場等のあらゆる分野で男女が性別に関わりなくその個性と能力が発揮できるよう、男女共同参画に関する講座や研修、地域などにおける推進啓発活動に取り組み、市民の意識を高め男女共同参画社会の実現を目指す。また、男性も女性も働きやすい職場を目指し、働き方改革につながる取り組みを行う。
実施方法等	①1男女共同参画月間(県6月、市11月)の街頭啓発活動とパネル展の開催 ②市民企画講座に対する支援 ③男女共同参画推進委員による出前講座 ④協働のまちづくり推進事業との合同イベント時に推進委員による啓発寸劇発表 ⑤女性起業家養成セミナー、高校生メイク・スキンケア教室の開催 ⑥イクボス共同宣言と女子社員カフェの開催 ⑦HP、市広報紙での情報提供など

3. 事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	3,790	1,712	1,820
	人件費	15,574	16,493	22,700
	総事業費	19,364	18,205	24,520
人員	正職員	2.32 人	2.32 人	3.23 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	2.32 人	2.32 人	3.23 人
財源内訳	国県支出金	607	266	380
	その他特定財源	1,124		
	一般財源	17,633	17,939	24,140

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年
指標	審議会等に占める女性委員率	%	目標	40.0	40.0	40.0	40.0
			実績	31.5	30.0	29.7	29.7
			達成率(%)	78.75	75.00	74.25	74.25
活動	指標の説明						
男女共同参画推進計画に掲げる女性委員登用の目標(29年度末)							
指標	女性のいない審議会・委員会等の解消	数	目標	0	0	0	0
			実績	7	8	9	10
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
成果	指標の説明						
男女共同参画推進計画に掲げる女性委員登用の目標(29年度末)							
指標	男女共同参画啓発出前講座・活動数	件	目標	30	30	30	30
			実績	13	18	15	18
			達成率(%)	43.33	60.00	50.00	60.00
活動	指標の説明						
推進委員による出前講座の開催回数							
指標	男女共同参画啓発出前講座受講者数	人	目標	500	600	800	750
			実績	389	585	455	786
			達成率(%)	77.80	97.50	56.88	104.80
活動	指標の説明						
推進委員による出前講座の受講者数							
指標に基づく評価		平成24年度に改定した男女共同参画推進計画に掲げている目標の「審議会・委員会等委員への女性登用率40%以上の審議会等」は、全体の35.4%で、目標到達にはまだまだ難しいものと言える。女性委員のいない審議会・委員会等の解消については、年々減少の傾向にあり女性委員の解消に努めている。女性委員の登用率の向上となるよう、目標達成に向けて積極的に取り組んでいく必要がある。					

5. 事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	
	推進員とともに、児童や高齢者に対し出前講座を行い、男女共同参画の啓発推進に努めたが、若年層や男性への啓発推進が進んでいない。庁内全所管課へ審議会等の改選時における女性の登用について積極的な取組みを依頼し、女性委員登用の推進に努めた。	
これまでの見直しや改善等の実績	市制10周年を記念し協働のまちづくり推進事業と合同でイベントを開催し、推進委員による啓発寸劇の発表を行い、日頃の活動周知と啓発をすることができた。職場のイクボスを増やし、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの実現を目指すことを目的に市内38の事業所でイクボス共同宣言を行った。男女共同参画だけでなく、女性活躍やイクボスの推進を図った。	

6. 今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		継続
目標年度	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	今後の推進委員会のあり方について検討していく。参画センターについては、男女共同参画の拠点としての位置づけとあわせ、包括的な取り組みを検討することが求められている。第2次推進計画は女性活躍推進を盛り込んだ計画として、平成32年3月に策定する。				

平成28年度 事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	02 総務費	項	07 諸費	目	08 男女交流促進費
大	051	結婚サポート事業				
中	01	結婚サポート事業				

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	1	住民とともに育むまちづくり	所管部局	総合政策部
	基本計画	1-1	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		女性活躍推進室
総合戦略	政策パッケージ	2	少子化・高齢化対策		
	施策	2-1	結婚支援の充実		
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	ソフト事業	
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				

2.事業の目的・概要

目的・趣旨	未婚率の上昇・晩婚化が進む中、男女の出会いの場を提供することを目的に、各関係機関と連携し出会いをサポートする。
実施方法等	<ul style="list-style-type: none"> 個別サポートの実施（個別カウンセリング、少人数セミナー） 交流イベントの開催（男女交流パーティ、浴衣コン、肉フェス婚活） スポーツを通じた男女間のコミュニケーション力養成（スポ・コン・マッチ） 地域の縁結びさんとの連携セミナーと交流会の開催（親世代を対象とした結婚支援）

3.事業のコスト

(単位：千円)

		平成28年度	平成27年度	平成26年度
コスト	事業費	2,683	1,441	822
	人件費	2,350	2,488	2,600
	総事業費	5,033	3,929	3,422
人員	正職員	0.35 人	0.35 人	0.37 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	0.35 人	0.35 人	0.37 人
財源内訳	国県支出金	87		
	その他特定財源	75		
	一般財源	4,871	3,929	3,422

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
指標	イベントなどの参加人数	人	目標	300	300	200	200
			実績	477	140	229	117
			達成率(%)	159.00	46.67	114.50	58.50
指標の説明		個別サポート、交流イベントなどの参加人数					
指標	イベントなどの開催回数	回	目標	10	10	2	2
			実績	15	5	3	2
			達成率(%)	150.00	50.00	150.00	100.00
指標の説明		個別サポート、交流イベントなどの開催回数					
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標			目標				
			実績				
			達成率(%)	0.00	0.00	0.00	0.00
指標の説明							
指標に基づく評価	出会いの場を提供するだけでなく、個別サポートやスポ・コン・マッチなどによるサポートも実施した。昨年よりもイベント回数を増やして実施したが、募集人数を超えて申込がある状態であった。 評価指標として活動はあげられるが、成果指標を示すことは難しい。						

5. 事業に対する評価

現状と課題	有効性に課題	
	イベントに同じ人が何度も参加したり、適齢期を過ぎた参加者が多いのが現状である。適齢期になる前に自分のライフプランを考えるためのセミナーなどを開催していく。現在は、NPOや大学と連携し実施しているが、今後は他課との共催企画も検討していく。	
これまでの見直しや改善等の実績	出会いの場を提供するだけでなく、25～45歳の独身男女を対象に個別カウンセリングや少人数セミナーを実施した。また、婦人福祉協議会や県登録「地域の縁結びさん」と連携して、未婚の子を持つ親世代を対象にしたセミナーを開催した。	

6. 今後の方向性

目標年度	短期的な方向性	継続	中長期的な方向性		継続
	平成29年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	職場内や地域における結婚応援の気運の醸成を高めていく必要がある。更に、若い時期からコミュニケーション能力や社会性を育成するための取り組みを行っていく。また、家庭教育や学校での教育を通じて、結婚・出産や仕事など将来の自分のライフプランを考える機会を提供していく。				